

2007年3月期 中間期決算報告

C  B I R D [®] H O L D I N G S

株式会社サイバードホールディングス

2006年11月22日

売上高・営業利益が前中間期比で大幅増

売上高 : 単体・連結ともに過去最高を更新。

単体7.1%増、連結23.9%増

営業利益 : 売上高増・原価率改善により大幅増。

単体89.0%増、連結1,518.3%増

特殊要因が経常利益・純利益に大きく影響

為替差損 : 海外子会社との取引に伴う損失(3億円)。()

株式評価損 : JIMOS株式の評価損失(19億円)。

() 当該為替差損は海外子会社への外貨建貸付に係る影響によるもの。
既に当該貸付金を同社株式に振替え、損益計算書への為替リスクを回避済み。

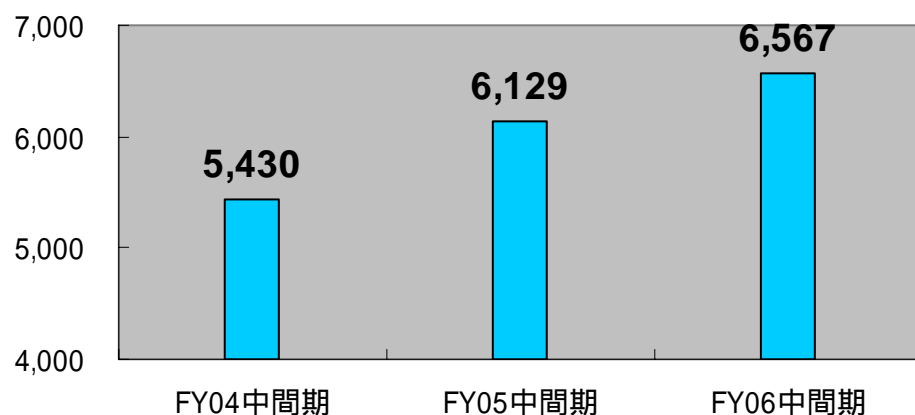
前中間期比で大幅増

単位:百万円(単位未満切捨)

		当中間実績値	前中間期比	主な要因
売上高	単体	6,567	+437 (+7.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きコンテンツ事業は二ケタ成長達成。 海外事業を始めとする新規連結子会社の寄与。
	連結	8,450	+1,630 (+23.9%)	

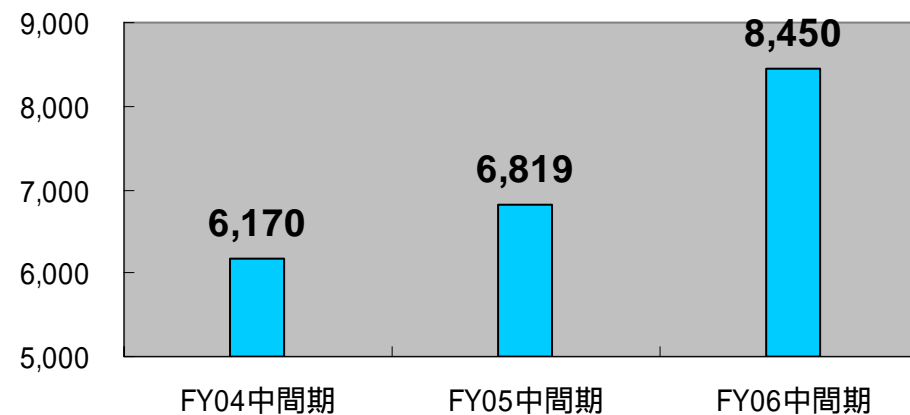
単体売上高推移

単位:百万円(単位未満切捨)



連結売上高推移

単位:百万円(単位未満切捨)

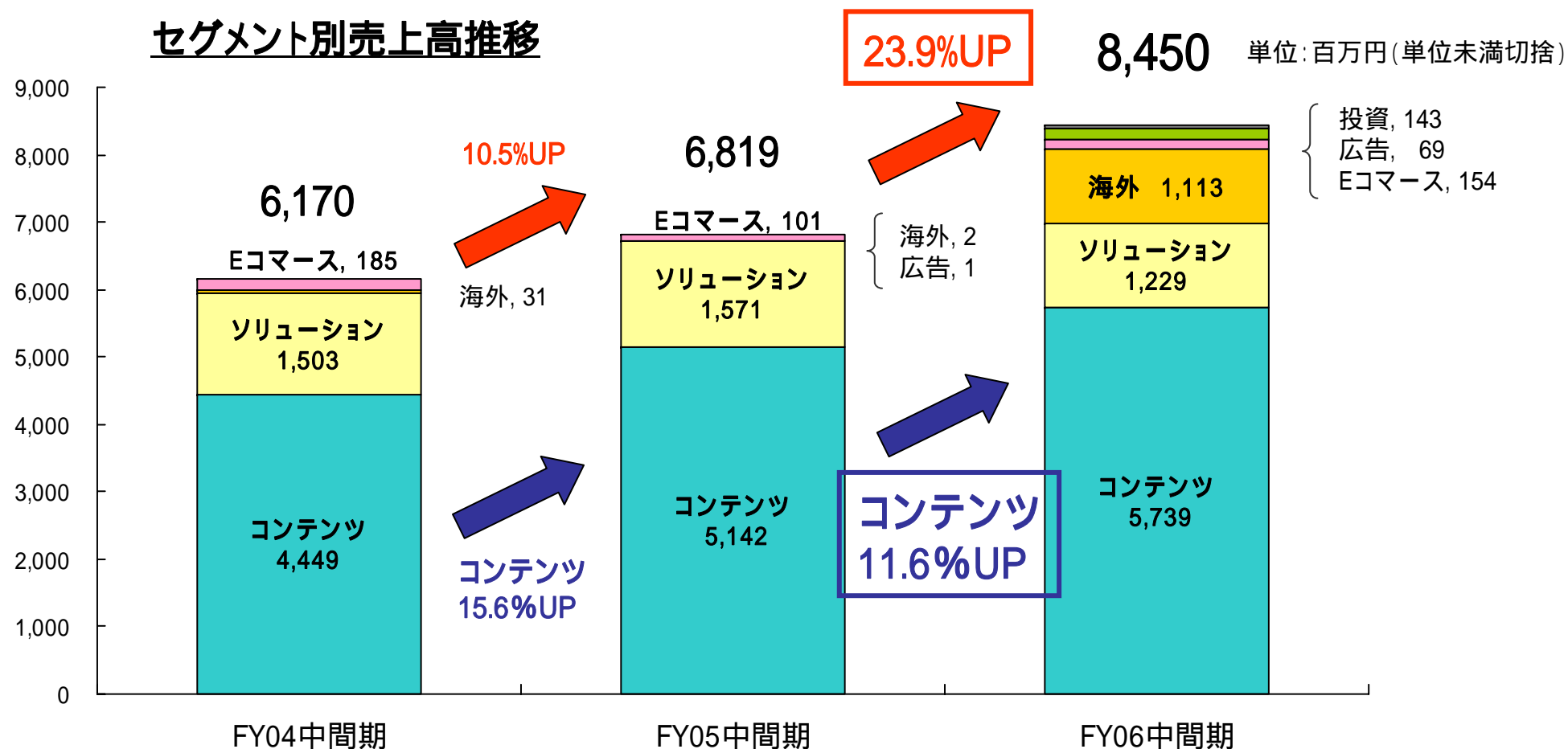


コンテンツ事業：引き続きニケタ成長持続。中間期過去最高を更新。

海外事業：海外子会社の連結効果による売上増。北米でのコンテンツ課金収益が堅調。

ソリューション事業：不採算子会社の非連結化が主な減収理由。

セグメント別売上高推移



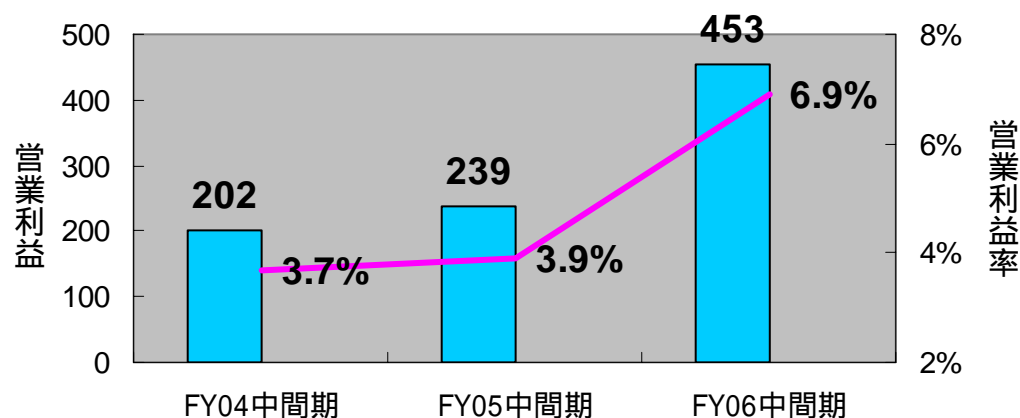
前中間期比で大幅増

単位:百万円(単位未満切捨)

		当中間実績値	前中間期比	主な要因
営業利益	単体	453	+213 (+89.0%)	・売上高増及びコンテンツ事業を中心とした原価率改善による増益効果(前中間期比連結ベースで8.3pt改善)。 ・海外事業に伴うのれんの償却を計上するものの、不採算子会社整理、子会社の収益改善も連結営業利益増に貢献。
	連結	345	+323 (+1518.3%)	

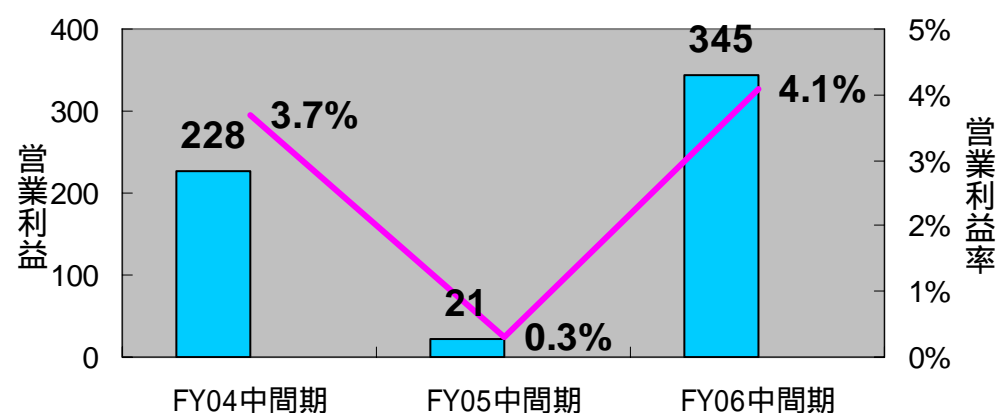
単体営業利益推移

単位:百万円(単位未満切捨)



連結営業利益推移

単位:百万円(単位未満切捨)



特殊要因が経常利益・純利益に大きく影響

単位:百万円(単位未満切捨)

		当中間実績値	前中間期比	主な要因
経常利益	単体	202	91 (31.2%)	・海外子会社との取引に伴う為替差損による影響 (3億円)。
	連結	1,945	2,010 (-)	・単体同様の為替差損による影響(3億円)。 ・JIMOS株式に係る持分法による投資損失。 (19億円 連結上は営業外費用として計上)
純利益	単体	1,946	2,185 (-)	・JIMOS株式に係る関係会社株式評価損。 (19億円 単体上は特別損失として計上)
	連結	2,183	2,281 (-)	

<JIMOS株20%分ののれん>

償却前ののれん残高 約21.2億円
 当中間期償却額 約19.2億円
 当中間期末ののれん残高 約2.0億円

<JIMOS株80%追加取得後ののれん>

80%取得後の償却前ののれん残高 約49.2億円
 期末償却額(予定) 約47.9億円
 当期末ののれん残高(予定) 約1.4億円